

大学院理工学研究科について

本学大学院理工学研究科は、博士課程（前期課程）、博士課程（後期課程）の両課程からなる博士課程で、情報工学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻、数理環境科学専攻の5専攻を設置している。

博士課程（前期課程）は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としている。標準修業年限は2年であり、所定の単位を修得して学位論文の審査に合格し課程を修了すると修士（工学）の学位が授与される。応用化学専攻、数理環境科学専攻は、指導教員の指導のもと修士（工学）、修士（理学）を選択することができる。

また、博士課程（後期課程）は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としている。標準修業年限は3年であり、研究指導を受けた上、学位論文の審査に合格し課程を修了すると博士（工学）の学位が授与される。応用化学専攻、数理環境科学専攻は、指導教員の指導のもと博士（工学）、博士（理学）を選択することができる。

多くの学部生諸君が大学院へ進学し、個々の能力を高められることを期待している。

○入学試験について（2023年度入学試験実績）

本学大学院理工学研究科の実施する入学試験には以下のものがある。

〔博士課程（前期課程）〕

1. 大学の卒業（見込み）者を主たる対象とする試験。〈6月下旬出願、7月上旬実施〉
※電気電子工学専攻のみ2月下旬にも実施。〈1月中旬出願〉
2. 大学に3年以上在学する者を対象とする試験（いわゆる「飛び入学」入試）。〈1月中旬出願、2月下旬実施〉
3. 大学を卒業し、2年以上教育・研究機関等で研究に従事した者を対象とする試験（いわゆる社会人入試）。
〈6月下旬出願、7月上旬実施〉

〔博士課程（後期課程）〕

1. 修士学位取得（見込み）者を主たる対象とする試験。〈1月中旬出願、2月下旬実施〉
2. 大学を卒業または修士の学位を得た後、2年以上教育・研究機関等で研究に従事した者を対象とする試験（いわゆる社会人入試）。〈6月下旬出願、7月上旬実施ならびに1月中旬出願、2月下旬実施（ただし、出願前に事前審査がある場合がある）〉

〈参 考〉

- ・博士課程（前期課程）の各専攻では、各々本学情報系学科・電気系学科・機械系学科・化学系学科・環境システム学科・数理システム学科の卒業見込者を対象に人物、成績ともに優秀で各専攻が特に認めた者については、学科試験の一部を免除することがある。
- ・いわゆる「飛び入学」入試の出願資格は、下記の通りとなっている（ただし、2023年度入学試験における出願資格）。

修得単位数と学業成績

大学在学期間が3年間に達した段階において、下記の全ての条件を満たす見込みの者。

1. 在学する大学の第3年次配当までの必修科目の単位を全て修得する。
2. 卒業必要単位数の90%以上を修得する。
3. 単位を修得した科目の4分の3以上（科目数）がB評価以上の評価を得る。

ただし、上記2、3において、修得単位のうち卒業要件に算入されない単位は、これらの算定に含まない。

なお、12月頃に出願に関する案内を掲示するので、「飛び入学」入試の受験を検討している者は注意すること。

- ・入学試験要項は、例年6月から大学ホームページにて請求できる。正門門衛所では無料で配付する。
- ・入学試験問題は、過去1年分が「大学院入試ガイド」に掲載されている。また、過去3年分のみ理工学部・理工学研究科事務室にて貸し出しを行う。

・近年の入学試験合格者数(ただし、「飛び入学」入試・社会人入試・「9月入学」入試・外国人留学生入試を含まない)

		専 攻	2023年度	2022年度	2021年度
博士課程 (前期課程)	7月実施	情 報 工 学 (注1)	63	97	66
		電気電子工学 (注2)	79	89	68
		機 械 工 学	113	105	95
		応 用 化 学 (注3)	91	94	76
		数理環境科学 (注4)	25	33	17
	2月実施	電気電子工学 (注2)	2023年 2月下旬実施	1	0
博士課程 (後期課程)		情 報 工 学 (注1)	2023年 2月下旬実施	3	2
		電気電子工学 (注2)		1	0
		機 械 工 学		3	3
		応 用 化 学 (注3)		2	3
		数理環境科学 (注4)		2	0

○大学院学則（修了要件等記載）や理工学研究科履修課程表は、大学院履修要項を参照のこと。
また、入試制度を含めて質問等あれば理工学部・理工学研究科事務室まで問い合わせること。

- (注1) 2008年度より、知識工学専攻から名称変更
(注2) 2008年度より、電気工学専攻から名称変更
(注3) 2012年度より、工業化学専攻から名称変更
(注4) 2009年度より、新設

教 員 名 簿 (A B C 順)

職 名	氏 名	研 究 室
学 部 長	白 川 善 幸	
インテリジェント情報工学科		
教 授	芳 賀 博 英	K E 2 1 0 情報システム学研究室
//	橋 本 雅 文	K E 2 0 8 知能メカトロ情報システム研究室
//	程 俊	Y E 2 1 5 情報数理工学研究室
//	加 藤 恒 夫	K C 2 2 1 音声言語処理機構研究室
//	奥 田 正 浩	K C 3 1 6 知的機構研究室
//	土 屋 誠 司	K C 2 1 3 知識情報処理研究室
//	渡 部 広 一	K C 2 1 1 知識情報処理研究室
准 教 授	桂 井 麻 里 衣	K C 3 1 8 知的機構研究室
//	木 村 共 孝	Y E 2 1 4 情報数理工学研究室
//	小 野 景 子	K C 1 2 1 知的システムデザイン研究室
情報システムデザイン学科		
教 授	IVAN TANEV	K C 2 2 3 社会情報学研究室
//	小 板 隆 浩	K E 1 0 9 ネットワーク情報システム研究室
//	大 久 保 雅 史	K E 2 1 1 応用メディア情報研究室
//	大 崎 美 穂	K E 1 1 1 共創情報学研究室
//	佐 藤 健 哉	K E 1 0 8 ネットワーク情報システム研究室
//	高 橋 和 彦	K E 2 0 9 知能メカトロ情報システム研究室
//	土 屋 隆 生	K C 3 2 3 応用メディア情報研究室
准 教 授	井 本 桂 右	K C 3 1 3 応用メディア情報研究室
//	木 村 達 明	K C 2 2 2 社会情報学研究室
//	白 浜 公 章	K E 1 1 0 共創情報学研究室
//	田 村 晃 裕	K C 3 2 1 音声言語処理機構研究室
電気工学科		
教 授	馬 場 吉 弘	Y E 4 1 2 電力系統解析研究室
//	藤 原 耕 二	Y E 3 1 6 電気機器研究室
//	井 上 馨	Y E 2 1 6 電気回路研究室
//	加 藤 利 次	Y E 3 1 2 電気回路研究室
//	近 藤 弘 一	Y E 2 1 1 応用数学研究室
//	小 山 大 介	Y E 1 1 6 超音波エレクトロニクス・ 応用計測研究室
//	松 川 真 美	Y E 2 1 7 超音波エレクトロニクス・ 応用計測研究室
//	長 岡 直 人	Y E 3 1 4 電力系統解析研究室
//	高 橋 康 人	Y E 3 1 7 電気機器研究室
//	和 田 元	Y E 3 1 1 プラズマ物理研究室

電子工学科

教 授	出 口 博 之	Y E 4 1 7	超高周波工学研究室
//	衣 斐 信 介	Y E 4 1 5	通信方式研究室
//	岩 井 誠 人	Y E 1 1 7	通信方式研究室
//	粕 谷 俊 郎	Y E 4 1 9	プラズマ物理研究室
//	大 谷 直 毅	Y E 1 1 9	光デバイス研究室
//	佐 藤 祐 喜	Y E 1 1 8	電気電子材料研究室
//	鈴 木 将 之	Y E 4 1 1	光・電子回路システム研究室
//	戸 田 裕 之	Y E 4 1 6	光・電子回路システム研究室
//	辻 幹 男	Y E 4 1 8	超高周波工学研究室
准 教 授	堺 健 司	Y E 3 1 9	電気電子材料研究室
助 教	田 中 智 之	Y E 2 1 9	応用数学研究室

機械システム工学科

教 授	廣 垣 俊 樹	Y M 5 0 3	生産システムデザイン研究室
//	稲 岡 恭 二	Y M 4 2 6	伝熱工学研究室
//	松 村 恵 理 子	Y M 3 2 6	噴霧・燃焼工学研究室
//	松 岡 敬	Y M 2 2 6	機械設計工学研究室
//	宮 本 博 之	Y M 1 2 5	金属材料科学研究室
//	笹 田 昌 弘	Y M 3 2 4	応用材料工学研究室
//	多 久 和 英 樹	Y M 2 2 1	数理工学研究室
//	辻 内 伸 好	Y M 4 2 3	機械力学研究室
准 教 授	野 口 尚 史	Y M 3 2 2	流体力学研究室
//	小 武 内 清 貴	Y M 2 2 3	構造工学研究室
助 教	稲 垣 和 寛	Y M 2 0 3	物理学研究室

機械理工学科

教 授	青 山 栄 一	Y M 5 2 1	生産システムデザイン研究室
//	平 田 勝 哉	Y M 3 2 1	流体力学研究室
//	伊 藤 彰 人	Y M 4 2 1	機械力学研究室
//	中 村 守 正	Y M 2 2 5	機械設計工学研究室
//	大 窪 和 也	Y M 2 2 4	構造工学研究室
//	千 田 二 郎	K K 3 0 1	噴霧・燃焼工学研究室
//	高 岡 正 憲	Y M 5 0 4	物理学研究室
//	田 中 達 也	Y M 3 2 5	応用材料工学研究室
准 教 授	原 峻 平	Y M 3 2 3	伝熱工学研究室
//	湯 浅 元 仁	Y M 1 2 2	金属材料科学研究室

機能分子・生命化学科

教 授	土 井 貴 之	S C 3 2 2	電気化学研究室
//	人 見 稯	S C 3 0 8	分子生命化学研究室
//	稲 葉 稔	S C 3 2 1	電気化学研究室
//	加 藤 将 樹	S C 2 0 7	無機合成化学研究室
//	木 村 佳 文	S C 2 2 1	物理化学研究室
//	北 岸 宏 亮	S C 4 2 3	機能有機化学研究室
//	小 寺 政 人	S C 3 2 3	分子生命化学研究室
//	古 賀 智 之	S C 4 2 1	高分子化学研究室
//	水 谷 義	S C 5 2 2	生体機能化学研究室
准 教 授	遠 藤 太 佳 嗣	S C 2 2 2	物理化学研究室
//	太 田 寛 人	S C 2 0 8	無機合成化学研究室
助 教	西 村 慎 之 介	S C 4 2 2	高分子化学研究室

化学システム創成工学科

教 授	橋 本 雅 彦	S C 3 2 4	バイオセンシング研究室
//	石 田 尚 之	S C 4 2 6	移動現象研究室
//	松 本 道 明	S C 5 2 5	生物化学工学研究室
//	塩 井 章 久	S C 2 2 6	分子化学工学研究室
//	白 川 善 幸	S C 3 2 6	粉体工学研究室
//	竹 中 壮	S C 2 2 3	材料システム研究室
//	土 屋 活 美	S C 4 2 5	移動現象研究室
//	塚 越 一 彦	S C 3 2 5	計測分離工学研究室
//	吉 田 幹 生	S C 4 0 8	粉体工学研究室
准 教 授	田 原 義 朗	S C 5 2 6	生物化学工学研究室
//	山 本 大 吾	S C 2 2 4	分子化学工学研究室

環境システム学科

教 授	赤 尾 聡 史	K E 3 1 1	人間環境研究室
//	後 藤 琢 也	K E 4 0 8	新エネルギーシステム研究室
//	長 谷 川 元 洋	K E 4 1 1	生命環境保全研究室
//	林 田 明	H S 1 1 0	地球システム科学研究室
//	盛 満 正 嗣	K E 4 0 9	環境システム工学研究室
//	大 園 享 司	K E 3 1 0	生命環境保全研究室
//	堤 浩 之	H S 1 0 9	環境保全・防災科学研究室
准 教 授	福 間 浩 司	K E 3 0 9	地球システム科学研究室
//	加 堂 大 輔	H S 1 0 6	環境科学研究室
//	山 根 省 三	K E 4 1 0	地域環境研究室
助 教	横 尾 頼 子	K E 3 0 8	環境保全・防災科学研究室

数理システム学科

教 授	浅 岡 正 幸	H S 2 0 8	幾何学研究室
//	今 井 仁 司	H S 2 0 9	計算数理研究室
//	川 口 周	H S 3 0 9	代数学研究室
//	齋 藤 誠 慈	H S 2 0 7	情報解析研究室
//	竹 井 義 次	H S 3 1 0	解析学研究室
//	津 田 博 史	H S 2 0 6	統計ファイナンス研究室
准 教 授	三 木 啓 司	Y E 2 1 8	離散数理研究室

実験実習センター

実験講師	大 西 慶 一 郎	S O B 0 7
------	-----------	-----------

注. Y E = 有徳館(西館)、Y M = 有徳館(東館)、S C = 至心館、H S = 報辰館、K C = 香知館(知能情報センター)、
K K = 光喜館、K E = 恵喜館、S O = 創考館

理工学部・理工学研究科関係建物一覧表（京田辺校地）

館	階	主 要 室 名	館	階	主 要 室 名
理 化 学 館 (RG)	1	理工学部長室 理工学部・理工学研究科事務室 理工学研究所長室 理工学研究所事務室	至 心 館 (SC)	1	情報系研究室・実験室 化学系実験室
	2	理工学部・理工学研究科文献室 (研究室事務室)		2	化学系研究室・実験室
有 徳 館 西 館 (YE)	1	電気系研究室・実験室		3	化学系研究室・実験室
	2	情報系研究室・実験室 電気系研究室・実験室 数理システム学科研究室		4	化学系研究室・実験室
	3	電気系研究室・実験室		5	化学系研究室・実験室 数理システム学科研究室
	4	電気系研究室・実験室		6	化学系研究室・輪講室
	5	電気系研究室・輪講室	報 辰 館 (HS)	1	環境システム学科研究室・実験室 理工学研究所研究室・実験室 科学史資料室
有 徳 館 東 館 (YM)	1	機械系研究室・実験室		2	数理システム学科研究室・実験室
	2	情報系研究室・実験室 機械系研究室・実験室・輪講室		3	情報系研究室・実験室 数理システム学科実験室 就職委員室
	3	機械系研究室・実験室	創 考 館 (SO)	B 1	情報系実験室 共同実験室
	4	機械系研究室・実験室 数理システム学科研究室		1	共同実験室（クリーンルーム他） 電気主任技術者事務室
	5	機械系研究室・輪講室		2	共同実験室
機械系実験実習棟（I J）～製図室 1・2			知源館 (CG)	1	機械系実験室
機械実習工場（MS 1）			香知館 (KC)	知能情報センター 情報系研究室・実験室	
機械実習工場別棟（MS 2）			光喜館 (KK)	B 1	共同実験室
電気系実験実習棟（D）				2	機械系研究室
自然系等実験実習棟（S J）				3	機械系研究室 共同実験室
			恵喜館 (KE)	1	情報系研究室・実験室
				2	情報系研究室・実験室
				3	環境システム学科研究室・実験室
				4	環境システム学科研究室・実験室

理工学部・理工学研究科事務室について

理工学部・理工学研究科事務室……………理化学館 1 階 【電話】0774（65）6200
 理工学部・理工学研究科文献室（研究室事務室）……………理化学館 2 階 【電話】0774（65）6211

（開室時間） 月～金曜日 9：00～17：00【休憩 11：30～12：30（文献室を除く）】

* 休暇中については、別途掲示や、大学ホームページに掲載する。

交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・試験の実施について（司法研究科以外）

交通機関が不通の場合および暴風警報、特別警報が発表された場合、授業ならびに試験の実施については、以下の措置をとります。

I. 交通機関の不通（原因の如何を問わず）の場合

- ・以下のいずれかに該当する交通機関の不通が発生した場合、発生時の次の講時からその日の授業・試験の一部あるいは全部についてその実施を中止します。
- ・その後の授業・試験の開始等措置は、以下の表のとおり、開通時刻により開始講時を決定します。（早朝からの不通が6時30分までに開通した場合は、平常通り授業を実施します。）
- ・該当交通機関での事故等による一時的な運転見合わせの際には、平常通り授業・試験を実施しますので、ご注意ください。

1. 対象となる交通機関

[今出川校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

[京田辺校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間、木津～京橋間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合
- ハ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合

2. 交通機関開通時刻と授業・試験開始講時

開通時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに開通	1講時から実施
6時31分から10時30分までに開通	3講時から実施
10時31分から15時30分までに開通	6講時から実施
15時31分以後に開通	全講時休講

II. 暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・以下の区域において暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時からその日の授業・試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中あるいは開始直前の授業・試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除の後、危険が回避されたことが確認された場合には、以下の表のとおり、警報解除時刻により授業開始講時を決定します。それ以外の場合、状況判断の上、別途指示します。（早朝からの警報が6時30分までに解除となった場合は、平常通りの授業を実施します。）

I. 警報発表対象地域

- ・予報一次細分区域における

京都府南部、大阪府

- ・予報二次細分区域における

京都・亀岡、南丹・京丹波、山城中部、山城南部、大阪市、北大阪、東部大阪、南河内、泉州

■警報・注意報が市町村を対象区域として発表される※ようになっていることから、以下の表に示す市町村のいずれかに警報が発表された場合は、該当の予報二次細分区域に警報が発表されたものとして、授業・試験の実施は中止します。

※テレビやラジオの放送では、これまでどおり「市町村をまとめた地域の名称」で発表される場合があります。

京都府南部

予報二次細分区域	市町村
京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村

大阪府

予報二次細分区域	市町村
大阪市	大阪市
北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四条畷市、交野市
南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

2. 警報解除時刻と授業・試験開始講時

警報が解除される時間帯によって、以下のとおり授業・試験を実施します。

警報解除時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに解除	1講時から実施する。
9時30分までに解除	1・2講時は実施しない。3講時から実施する。
14時30分までに解除	1～5講時は実施しない。6講時から実施する。
14時31分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・試験を行うことが困難あるいは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。

Ⅳ. 試験期間中にこの措置が適用された場合、当該試験の実施に関しては、必要に応じて大学HP、DUETあるいは学内掲示板等を利用して案内します。

Ⅴ. 特別警報、暴風警報等の発表時には、必要に応じ、大学HP、DUETあるいは学内掲示板等を利用して、大学から学生に対して連絡を行います。
大学HP、DUET等を確認するようご注意ください。

以上